

令和5年度（令和4年度事業）  
教育委員会に関する事務の  
点検・評価報告書

令和5年9月

にかほ市教育委員会

## はじめに

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務づけられています。

にかほ市教育委員会でも、法律の趣旨にのっとり、効果的な教育行政を推進するとともに、市民への説明責任を果たすため、学識経験者の知見を活用した点検及び評価を行い、報告書を作成しました。

この点検及び評価に基づき、施策の効果の検証と改善を図りながら、教育行政の公正かつ適正な執行につとめてまいります。

令和5年9月

にかほ市教育委員会

### 【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 目 次

|               |            |       |
|---------------|------------|-------|
| 評価の実施方法       | ・・・・・・・・・・ | 1     |
| 事務事業評価シートについて | ・・・・・・・・・・ | 1～2   |
| 評価結果の公表       | ・・・・・・・・・・ | 2     |
| 事務事業評価一覧表     | ・・・・・・・・・・ | 3     |
| 事務事業評価シート     | ・・・・・・・・・・ | 4～13  |
| 評価委員の意見（総評）   | ・・・・・・・・・・ | 14～15 |

## 1 評価の実施方法

### 点検・評価の対象

令和4年度に実施している事務事業のうち、教育委員会各課等の課題や目標として定めた重点項目10事業を選定し、点検及び評価を行いました。

### 点検・評価の観点

事務事業の目的・内容に照らし、投入した事業コストに対して実績や成果と必要性、有効性、効率性、達成度から、客観的な評価を行ったうえで、内部評価、事業の方向性について総括しました。

### 点検・評価の主体及び方法

事務事業評価表により担当課による事業検証を実施するとともに、外部評価委員からの意見・評価をいただきました。

## 2 事務事業評価シートについて

### 対象とする事業

点検及び評価の対象は、本市教育の基本方針による重点目標に即した取り組みとして実施している令和4年度の主な施策・事業等としています。

### 評価者

所管課の事業担当者が評価者となり自己評価を行いました。

### I. 事業の目的・内容 (Plan)

#### 事業の目的・内容

何のために当該事業を行っているのか、事業実施により何をどうしたいのか、どういったことが課題なのか、目的・内容・課題について記載しています。

### II. 事業の取り組みとコストの状況 (Do)

#### 事業コスト

事業費は、各年度における決算額を千円単位で記入し、概算人件費は、事務事業の実施にどの程度の人件費を費やしているかを記載しています。

#### 実績及び成果

事業費及び人件費を投入した結果、どれだけの事業を実施することができたか、また、目的が達成されたか把握できるように、事業の実施によってもたらされた直接の成果についても可能な限り数値で表しています。

### III. 事業の評価 (Check)、今後の方向性 (Action)

#### (1) 事業についての評価

## 事業の評価

### 必要性

現在の市民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業の必要性があるかどうか、状況の変化に対応しているかどうか、縮小又は休止・廃止した場合の影響は大きいかを評価しました。

### 有効性

施策や運営方針、市で策定した総合発展計画の目標成果が得られているかどうか、市民の満足度が得られているかを評価しました。

### 効率性

事業コストがかかりすぎていないか、事業が効率的に実施できたかを評価しました。

### 達成度

計画どおり達成しているかを評価しました。

## 内部評価

事務事業の費用対効果や手段の妥当性等を教育次長及び所管課の長が評価を行い、課題等への対応やその結果を記載しています。

## (2) 事業の今後の方向性

### 現状の課題と今後の取組み

当該事業の実施に際して生じた課題の抽出とそれに対応する今後の取組みを記載しています。

## 総合評価

所管課が評価した結果について、「にかほ市教育委員会評価委員会」から総合評価をいただきました。

### 外部評価委員の意見・評価

所管課が評価した結果について、「にかほ市教育委員会評価委員会」から選定した全項目についてご意見をいただきました。評価の客観性により所管課では気づかなかった点が確認できるとともに、問題・課題の解決につなげます。

## IV. 評価委員会の評価を踏まえた事業の方向性

### 今後の取組み

内部評価結果及び外部評価結果を分析し、一層の事務事業の改善に取り組み、学校教育・生涯学習などの教育行政の更なる推進を図ります。

## 3 評価結果の公表

教育委員会教育総務課で所管課の評価表を総括のうえ、ここに報告書としてまとめました。本報告書は市議会に提出するとともに、市ホームページに掲載し、市民からの意見も広く聴取します。

## R4年度事務事業評価一覧表

| 重点目標                   | 番号 | 事務事業名                | 担当課         |
|------------------------|----|----------------------|-------------|
| 知・徳・体の調和のとれた<br>子どもの育成 | 1  | 小・中学校施設の維持管理業務       | 教育総務課       |
|                        | 2  | ICT支援員               | 学校教育課       |
| 多様な学習機会の提供             | 3  | 高齢者学級「福寿大学」          | 金浦公民館       |
|                        | 4  | 元気の出る古典講座            | 仁賀保公民館      |
|                        | 5  | イスに座ってできる軽運動         | 象潟公民館       |
|                        | 6  | 3Dプリンター教室            | フェライト子ども科学館 |
|                        | 7  | ブックスタート事業            | 図書館こびあ      |
|                        | 8  | 白瀬南極出前講座             | 白瀬南極探検隊記念館  |
|                        | 9  | 音楽ホール管理運営            | 仁賀保勤労青少年ホーム |
| 史跡・名勝・天然記念物の<br>保護・管理  | 10 | 天然記念物「象潟」（九十九島）下刈り事業 | 文化財保護課      |

|                   |   |      |                |
|-------------------|---|------|----------------|
| 発展計画の目標           | 知・徳・体の調和のとれた子どもの育成  | 番号   | 1              |
| 事務事業名             | 小・中学校施設・設備の維持管理業務   | 主要施策 | その他事業          |
|                   |   | 担当課  | 教育総務課          |
| I. 事業の目的・内容(Plan) |   | 予算科目 | 款 10 項 2・3 目 節 |
| 事業の目的             | 学校施設の機能を維持し、児童生徒が快適な学校生活を過ごせるように、建物・設備及び外構等の性能並びに状態を常時適切な状態に維持管理する。 |      |                |
| 事業の内容             | 小中学校の建物・設備等の修繕又は工事により施設の機能を維持する。                                    |      |                |
| 事業の課題             | 施設や設備の老朽化に伴い、措置した予算を超えた修繕などが発生する場合がある。                              |      |                |

II. 事業の取り組みとコストの状況(Do)

| 事業コスト  | 区 分      | 単位    | R3年度決算 | R4年度決算 | R5年度予算 |        |
|--------|----------|-------|--------|--------|--------|--------|
|        | 事業費      | ①     | 千円     | 50,193 | 58,964 | 56,187 |
| うち一般財源 |          | 千円    | 50,193 | 58,964 | 56,187 |        |
| 概算人件費  |          | ②     | 千円     | 6,713  | 6,155  | 6,313  |
| 総コスト   |          | ① + ② | 千円     | 56,906 | 65,119 | 62,500 |
| 実績及び成果 | 名 称      | 単位    | R3年度実績 | R4年度実績 | R5年度予定 |        |
|        | 小・中学校工事費 | 千円    | 17,869 | 19,490 | 16,200 |        |
|        | 小・中学校修繕費 | 千円    | 6,195  | 5,115  | 5,300  |        |
|        | 小・中学校委託料 | 千円    | 26,129 | 32,986 | 34,687 |        |

III. 事業の評価(Check)、今後の方向性(Action)

(1) 事業についての評価(Check)

|           |            |   |   |
|-----------|------------|---|---|
| 事業の<br>評価 | 必要性        | <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> やや影響がある <input type="checkbox"/> 影響はほとんどない<br>縮小・休止・廃止の影響は大きい<br>児童生徒が1日の大半を過ごす施設であり、事業の休止廃止は影響が大きい   |   |
|           | 有効性        | <input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない<br>市民の満足度が得られている<br>児童生徒が快適な学校生活を過ごしてもらうためのものであり、市民の満足度は概ね得られている。                       |   |
|           | 効率性        | <input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない<br>効率的に実施できたか<br>施工箇所については、学校と協議しながら実施しており、概ね効率よく実施できている。                                 |   |
|           | 達成度        | <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない<br>目標を計画どおり達成しているか<br>予定していた工事、修繕等の発注を終えたため達成とした。緊急修繕などについては、予算の状況により対応できない場合があるが、必要に応じて補正予算等で対応した。 |   |
| 内部<br>評価  | 総合評価       | 費用対効果   | コストに見合った効果が <input checked="" type="checkbox"/> あがっている <input type="checkbox"/> あがっていない   |
|           |            | 手段の妥当性  | 手法を見直す必要が <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他( )  |
|           |            | 事業の方向性  | <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他( ) |
|           | 評価に対するコメント | 計画的な工事・修繕等により施設の機能を維持し、児童生徒が安全に学校生活を行えるように努める。  |   |

(2) 事業の今後の方向性(Action)

|              |   |
|--------------|---|
| 現状の課題        | 施設や設備の老朽化に伴い予期せぬ修繕等が発生することが多くなってきている。   |
| 今後の取り組み      | 学校からの要請に基づき、優先順位をつけ計画的に工事、修繕を進めていく。   |
| 総合評価         | <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他( ) |
| 外部評価委員の意見・評価 | すべての施設に共通して言えることだが、老朽化問題は全国的にも重要な課題となっているため、しっかりと計画のもとに、子どもたちの安全安心を確保できるよう十分な対応をしていただきたい。   |

IV. 評価委員会の評価を踏まえた事業の方向性

|         |  |
|---------|--|
| 今後の取り組み | 学校からの要望を適切に判断するため、施設ごとに点検調査を実施し維持管理計画を策定する。7校分の計画を一度に策定するのは難しいので、複数年かけて実施していく。 |
|---------|--|

|                   |  |      |             |      |
|-------------------|--|------|-------------|------|
| 発展計画の目標           | 知・徳・体の調和のとれた子どもの育成                                   |      | 番号          | 2    |
| 事務事業名             | ICT支援員   | 主要施策 | 新たな教育課題への対応 |      |
|                   |  | 担当課  | 学校教育課       |      |
| I. 事業の目的・内容(Plan) |  | 予算科目 | 款           | 10 項 |
|                   |  |      | 目           | 3 節  |
| 事業の目的             | 教員のICT活用指導力の向上と児童生徒の情報活用能力の育成と主体的に学ぶ態度の育成を目指す。       |      |             |      |
| 事業の内容             | ICT支援員を導入し、小中学校の教員や児童生徒のICT活用（授業、教員研修等）をサポートする。      |      |             |      |
| 事業の課題             | ICT機器に対して負担を感じている教員も見られたり、ICT支援員を活用することに個人差が見られたりする。 |      |             |      |

II. 事業の取り組みとコストの状況(Do)

| 事業コスト  | 区 分       | 単位 | R3年度決算 | R4年度決算 | R5年度予算 |
|--------|-----------|----|--------|--------|--------|
|        | 事業費       | ①  | 千円     | 0      | 2,700  |
| うち一般財源 |           | 千円 | 0      | 2,700  | 3,096  |
| 概算人件費  |           | 千円 | 0      | 184    | 189    |
| ① + ②  |           | 千円 | 0      | 2,884  | 3,285  |
| 実績及び成果 | 名 称       | 単位 | R3年度実績 | R4年度実績 | R5年度予定 |
|        | ICT支援員配置数 | 人  | 0      | 1      | 1      |

III. 事業の評価(Check)、今後の方向性(Action)

(1) 事業についての評価(Check)

|                |   |   |   |
|----------------|---|---|---|
| 事業の<br>評価      | 必要性   | <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> やや影響がある <input type="checkbox"/> 影響はほとんどない                                    |   |
|                | 縮小・休止・廃止の影響は大きい   | ICTを活用することに不安を感じている教員もおり、ICT機器を積極的に活用し、児童生徒の学習意欲と情報活用能力の向上を図るために専門的な知識や技能をもつICT支援員の配置は必要である。  |   |
|                | 有効性   | <input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない |   |
|                | 市民の満足度が得られている   | ICT支援員の配置により、ICT機器を活用する教員や活用の仕方について相談する教員も増えている。  |   |
|                | 効率性   | <input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない   |   |
| 効率的に実施できた      | 1人の支援員を7つの小中学校へ派遣しているが、ICT支援員のスケジュールに研修や操作依頼を事前に書き込むことで、効率よく実施できている。  |   |   |
| 達成度            | <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない |   |   |
| 目標を計画どおり達成している | 授業中に支障なく活用できるようにICT支援員が事前に動作を確認したり、授業中でのICT機器の活用を支援したりして計画どおり実施することができている。  |   |   |
| 内部<br>評価       | 総合評価  | 費用対効果   | コストに見合った効果が <input checked="" type="checkbox"/> あがっている <input type="checkbox"/> あがっていない   |
|                |   | 手段の妥当性  | 手法を見直す必要が <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他( )  |
|                |   | 事業の方向性  | <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他( ) |
| 評価に対するコメント     | 個人や集団研修をととして、教職員のICT活用指導力の向上を図っていくが、ICT支援員を配置することを通して、ICTを日常的に活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげていきたい。                                   |   |   |

(2) 事業の今後の方向性(Action)

|              |   |
|--------------|---|
| 現状の課題        | 電子黒板などのICT機器やICT支援員の活用について、まだ個人差が見られる。児童生徒の多様な学びをサポートするためにも、ICT機器の効果的な活用を推進していく必要がある。   |
| 今後の取り組み      | GIGAスクール推進校を核とした研修を充実したり、各校に任命されたICTマイスターが中心となり、ICT支援員と連携を図り、教員の悩み等に対応したりする。また、個人研修や校内での研修を深めていく。   |
| 総合評価         | <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他( ) |
| 外部評価委員の意見・評価 | ICTは子どもたちにとってとても身近になっていて、授業にも活用しているのは重要なことと考える。科目によっては機器も使いにくいということもあるかもしれないが、必要に応じて支援員を増員するなど、更に充実したものにしていただきたい。   |

IV. 評価委員会の評価を踏まえた事業の方向性

|         |   |
|---------|---|
| 今後の取り組み | ICT支援員の配置により、ICT機器の活用の研修や相談、授業における活用の場面も増えてきている。今後もより効果的な活用方法について研修を深めていきたい。必要に応じてICTマイスターや情報教育支援員と連携しながら教職員や児童生徒へ対応できるようにしていく。 |
|---------|---|



|                   |   |      |            |    |   |
|-------------------|---|------|------------|----|---|
| 発展計画の目標           | 多様な学習機会の提供  |      |            | 番号 | 3 |
| 事務事業名             | 高齢者学級(金浦福寿大学)   | 主要施策 | 生涯学習の推進と充実 |    |   |
|                   |   | 担当課  | 金浦公民館      |    |   |
| I. 事業の目的・内容(Plan) |   | 予算科目 | 款          | 10 | 項 |
|                   |   |      | 4          | 目  | 3 |
| 事業の目的             | 高齢者の仲間づくり、生きがいくづくり、健康づくりに資する学習活動の環境を整え、参加者の学習ニーズに応じた講座等を開設する。 |      |            |    |   |
| 事業の内容             | 各種講座や館外研修、芸術鑑賞、3地区高齢者学級交流会などの学習・体験活動を実施する。                    |      |            |    |   |
| 事業の課題             | 学生(参加者)による自主活動化が望ましいが、高齢化により公民館が主体となっていて行わざるを得ない状況である。        |      |            |    |   |

II. 事業の取り組みとコストの状況(Do)

| 事業コスト  | 区分     | 単位    | R3年度決算 | R4年度決算 | R5年度予算 |
|--------|--------|-------|--------|--------|--------|
|        | 事業費    | ①     | 千円     | 33     | 65     |
|        | うち一般財源 | 千円    | 33     | 65     | 68     |
|        | 概算人件費  | ②     | 1,342  | 1,320  | 1,262  |
|        | 総コスト   | ① + ② | 1,375  | 1,385  | 1,330  |
| 実績及び成果 | 名称     | 単位    | R3年度実績 | R4年度実績 | R5年度予定 |
|        | 教室の開催  | 回     | 8      | 10     | 11     |
|        | 学生数    | 人     | 67     | 63     | 68     |
|        | 学級の出席率 | %     | 50.7   | 53.94  | 55.0   |

III. 事業の評価(Check)、今後の方向性(Action)

(1) 事業についての評価(Check)

|            |  |   |   |
|------------|--|---|---|
| 事業の評価      | 必要性  | <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> やや影響がある <input type="checkbox"/> 影響はほとんどない                                    |   |
|            | 縮小・休止・廃止の影響は大きい  | 金浦地域の高齢者学級「福寿大学」同様、仁賀保地域に「むらすぎ学園」、象潟地域に「白寿大学」と高齢者学級があるため、金浦地域での廃止や規模縮小は学習機会の地域格差を生むことになるため影響は大きい。   |   |
|            | 有効性  | <input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない |   |
|            | 市民の満足度が得られている  | 昨年度コロナ禍にありながら、学生の参加率が50%を超えているので、概ね満足度は得られていると言える。  |   |
| 評価         | 効率性  | <input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない   |   |
|            | 効率的に実施できた  | 開催期日、講義内容について年度初めのオリエンテーションで周知を図り、コロナによる事業中止以外は計画通りに事業遂行できているので効率については概ね良いと言える。   |   |
| 内部評価       | 達成度  | <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない             |   |
|            | 目標を計画どおり達成している   | コロナ禍にありながら、コロナを理由とした事業中止はなく、1月授業のみ悪天候によりやむを得ず中止とした。参加率も50%を超えている。   |   |
| 内部評価       | 総合評価   | 費用対効果   | コストに見合った効果が <input checked="" type="checkbox"/> あがっている <input type="checkbox"/> あがっていない   |
|            |  | 手段の妥当性  | 手法を見直す必要が <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他( )  |
|            |  | 事業の方向性  | <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他( ) |
| 評価に対するコメント | 参加者の高齢化や固定化などの問題はありますが、高齢者の学びに対する取り組みは必要であり、学習内容をさらに充実させたり、若手シニア層を取り込んでいけるような事業展開を図る必要がある。 |   |   |

(2) 事業の今後の方向性(Action)

|              |   |
|--------------|---|
| 現状の課題        | 学生(参加者)の高齢化により、自主活動化が進まない。  |
| 今後の取り組み      | 高齢者学級の自主活動化には60歳代半ばまでの若手シニア層の参加が必要不可欠であり、その世代の高齢者学級への参加にむけて、さらなる学習内容の充実や事業のPR活動に力を入れていく必要がある。   |
| 総合評価         | <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他( ) |
| 外部評価委員の意見・評価 | 老人クラブの衰退が見られる状況の中で、コロナ禍の中1回も休まずに実施したことは、大変意義深いことだと思う。これからも、みんなが安心して参加できる活動を継続していただきたい。  |

IV. 評価委員会の評価を踏まえた事業の方向性

|         |  |
|---------|--|
| 今後の取り組み | 今年度60代前半の若手シニア層の方が3名新規に参加となった。今年度は広報の裏面一面を使ってPRもさせてもらったが、なかなか一気に入会者の増加とはいかなかった。今年度入会してくれた方にも友達に声をかけてもらったり、来年度に向けて高齢者学級PR方法を考えたい。講義内容についても参加者を飽きさせないような内容を企画していく。 |
|---------|--|

|                   |            |      |                |
|-------------------|------------|------|----------------|
| 発展計画の目標           | 多様な学習機会の提供 | 番号   | 4              |
| 事務事業名             | 元気の出る古典講座  | 主要施策 | 生涯学習の推進と充実     |
|                   |            | 担当課  | 仁賀保公民館         |
| I. 事業の目的・内容(Plan) |            | 予算科目 | 款 10 項 4 目 2 節 |

|       |  |
|-------|--|
| 事業の目的 | 教養に関する講座を実施し、受講者の知識及び生活の質の向上を図る。   |
| 事業の内容 | 平安時代に女流文学の基礎と繁栄を築いた、4人の作家と代表的な作品を取り上げ、時代背景や作者の生き方、考え方を考察し、古典文学に親しむ機会とする。 |
| 事業の課題 | 土曜日開催でありながら、若年層の参加が少ない。受講者の年齢層は高く、毎年受講者が固定化している傾向にある。                    |

II. 事業の取り組みとコストの状況(Do)

| 事業コスト      | 区 分        | 単位 | R3年度決算 | R4年度決算 | R5年度予算 |
|------------|------------|----|--------|--------|--------|
|            | 事業費        | ①  | 千円     | 50     | 40     |
| うち一般財源     |            | 千円 | 50     | 40     | 40     |
| 概算人件費      |            | 千円 | 671    | 660    | 631    |
| 総コスト ① + ② |            | 千円 | 721    | 700    | 671    |
| 実績及び成果     | 名 称        | 単位 | R3年度実績 | R4年度実績 | R5年度予定 |
|            | 実施回数       | 回  | 5      | 4      | 4      |
|            | 参加人数(延べ人数) | 人  | 104    | 118    | 100    |

III. 事業の評価(Check)、今後の方向性(Action)

(1) 事業についての評価(Check)

|                   |                        |  |
|-------------------|------------------------|--|
| 事業<br>の<br>評<br>価 | 必要性<br>縮小・休止・廃止の影響は大きい | <input type="checkbox"/> 影響は大きい <input checked="" type="checkbox"/> やや影響がある <input type="checkbox"/> 影響はほとんどない<br>アンケートの回答の中で、継続希望の声が多く、必要性は高い。  |
|                   | 有効性<br>市民の満足度が得られている   | <input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 概ね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない<br>アンケートの回答の中で、「満足」との回答を多くいただいている。   |
|                   | 効率性<br>効率的に実施できた       | <input checked="" type="checkbox"/> 効率よく実施 <input type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない<br>コロナ禍でも影響なく実施することが出来ている。   |
|                   | 達成度<br>目標を計画どおり達成している  | <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない<br>各回募集定員25人に対し30人超の申し込みがあった。全4回終了し、参加率は87%と高く、受講者の満足も得ており、事業の目的は概ね達成できている。  |
| 内部<br>評<br>価      | 総合評価                   | 費用対効果    コストに見合った効果が <input checked="" type="checkbox"/> あがっている <input type="checkbox"/> あがっていない<br>手段の妥当性    手法を見直す必要が <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他( )<br>事業の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他( ) |
|                   | 評価に対するコメント             | 県内の高校で長年国語教師を勤められた講師の、豊富な知識と飽きさせない話術に引き込まれるファンも多く、古典に馴染みのない方でも楽しめる講座となっている。  |

(2) 事業の今後の方向性(Action)

|              |   |
|--------------|---|
| 現状の課題        | 若年層並びに男性参加の割合が低い。   |
| 今後の取り組み      | 性別・年齢問わず幅広く参加できるように講座内容の充実を図るとともに、周知方法の検討が必要である。また、コロナ禍ではあるが、参加者同士が気軽に意見交換を出来るような場となるよう工夫していきたい。  |
| 総合評価         | <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他( ) |
| 外部評価委員の意見・評価 | 広く一般の人も興味を持ちやすいテーマを選んでいて参加人数も多く、継続することでさらに良いものになると考える。周知を工夫して幅広い参加を促していただきたい。   |

IV. 評価委員会の評価を踏まえた事業の方向性

|         |  |
|---------|--|
| 今後の取り組み | 受講者のアンケートを参考にしながら、興味を持ちやすいテーマを計画していく。SNSを活用して事業をPRするとともに、QRコードで申し込みできるようにするなど、申し込みの選択肢を増やして受講者の参加を促していく。 |
|---------|--|

|         |              |      |            |
|---------|--------------|------|------------|
| 発展計画の目標 | 多様な学習機会の提供   | 番号   | 5          |
| 事務事業名   | イスに座ってできる軽運動 | 主要施策 | 生涯学習の推進と充実 |
|         |              | 担当課  | 象潟公民館      |

I. 事業の目的・内容(Plan)

予算科目 款 10 項 4 目 4 節 7

|       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| 事業の目的 | 激しく動けない、動きたくない人向けの適度な運動で、健康維持を図る。 |
| 事業の内容 | イスに座ってできる運動、ヨガマットを使った運動、脳トレ。      |
| 事業の課題 | 公民館教室からサークル活動への移行。世話役をする人材の確保。    |

II. 事業の取り組みとコストの状況(Do)

| 区 分   |        | 単位 | R3年度決算 | R4年度決算 | R5年度予算 |
|-------|--------|----|--------|--------|--------|
| 事業コスト | 事業費    | 千円 | 20     | 15     | 25     |
|       | ①      | 千円 | 20     | 15     | 25     |
|       | うち一般財源 | 千円 |        |        |        |
|       | 概算人件費  | 千円 | 335    | 330    | 315    |
|       | ②      | 千円 |        |        |        |
| 総コスト  | ① + ②  | 千円 | 355    | 345    | 340    |

  

| 名 称    |           | 単位 | R3年度実績 | R4年度実績 | R5年度予定 |
|--------|-----------|----|--------|--------|--------|
| 実績及び成果 | 受講者(延べ人数) | 人  | 50     | 53     | 90     |
|        | 教室実施数     | 回  | 4      | 3      | 5      |
|        |           |    |        |        |        |

III. 事業の評価(Check)、今後の方向性(Action)

(1) 事業についての評価(Check)

|                   |            |  |
|-------------------|------------|--|
| 事業<br>の<br>評<br>価 | 必要性        | <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> やや影響がある <input type="checkbox"/> 影響はほとんどない<br>縮小・休止・廃止の影響は大きい<br>適切な体力・筋力維持の効果があるので必要性は高い。   |
|                   | 有効性        | <input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 概ね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない<br>市民の満足度が得られている<br>アンケートの回答にほとんどの方が「大変満足」「満足」と書いていたので満足度は得られた。  |
|                   | 効率性        | <input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない<br>効率的に実施できたか<br>定期的(2週間おき)に実施できた。健康維持のためには、長期開催できればもっと良かった。   |
|                   | 達成度        | <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない<br>目標を計画どおり達成しているか<br>計画どおり実施できた。アンケート回答者全員が「役に立った」と回答している。また「無理なく運動できてよかった」「腰痛の改善に役立った」健康維持という目標を達成することができた。  |
|                   | 総合評価       | 費用対効果    コストに見合った効果が <input checked="" type="checkbox"/> あがっている <input type="checkbox"/> あがっていない<br>手段の妥当性    手法を見直す必要が <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他( )<br>事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他( ) |
| 内部<br>評<br>価      | 評価に対するコメント | 昨年度から始めた事業だがリピーターも多く、アンケートの回答に、またの開催や長い期間開催する要望があったことから、日数を増やし継続していきたい。  |

(2) 事業の今後の方向性(Action)

|              |   |
|--------------|---|
| 現状の課題        | 公民館教室からサークル活動への移行。サークルの世話役の人材を確保すること。   |
| 今後の取り組み      | 来年度も開催回数を増やして実施する。サークル化を促していく。  |
| 総合評価         | <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他( ) |
| 外部評価委員の意見・評価 | 公民館教室からサークル活動への移行は理想的ではあるが、指導者などの人材確保は難しいと考える。事業自体をスポーツ推進委員などと連携して実施することなども検討していただきたい。  |

IV. 評価委員会の評価を踏まえた事業の方向性

|         |   |
|---------|---|
| 今後の取り組み | 健康志向の高まりなど新規参加者を始め需要が伸びてきていることから、令和5年度は過去最多の回数を実施予定としている。今後も継続可能な事業となるよう、スポーツ推進員、スポーツ振興課と協議検討を図る。 |
|---------|---|

|         |            |      |                |
|---------|------------|------|----------------|
| 発展計画の目標 | 多様な学習機会の提供 | 番号   | 6              |
| 事務事業名   | 3Dプリンター教室  | 主要施策 | フェアイト子ども科学館の充実 |
|         |            | 担当課  | フェアイト子ども科学館    |

I. 事業の目的・内容(Plan)

|       |  |
|-------|--|
| 事業の目的 | 普段触れる機会の少ない3Dプリンターを使った「ものづくり」を通して、子どもたちの好奇心や未知の分野へ挑戦する意欲を育むとともに、最先端技術を体験・修得することにより、就職に有利な知識を身に付け、もって地域産業を担う人材育成を目的とする。 |
| 事業の内容 | 小中学生を対象に普段触れることのない「3Dプリンター」を使った「ものづくり」体験活動の機会を提供する。年8回程度の教室を行う。事業の企画や講師は民間業者に委託する。                                     |
| 事業の課題 | 現在募集に際して定員割れはないが、今後継続事業として多くの参加者のもと、より実効性のある教室にするため、学校行事の把握に努めるなど適切な日程調整を図る必要がある。                                      |

II. 事業の取り組みとコストの状況(Do)

| 事業コスト      | 区分      | 単位 | R3年度決算  | R4年度決算   | R5年度予算  |
|------------|---------|----|---------|----------|---------|
|            | 事業費     | ①  | 千円      | 1,534    | 1,646   |
| うち一般財源     |         | 千円 | 1,534   | 1,646    | 84      |
| 概算人件費 ②    |         | 千円 | 671     | 616      | 631     |
| 総コスト ① + ② |         | 千円 | 2,205   | 2,262    | 715     |
| 実績及び成果     | 名称      | 単位 | R3年度実績  | R4年度実績   | R5年度予定  |
|            | 参加人数    | 人  | (延べ)88人 | (延べ)121人 | (延べ)50人 |
|            | 教室の実施回数 | 回  | 8回      | 7回       | 3回      |

III. 事業の評価(Check)、今後の方向性(Action)

(1) 事業についての評価(Check)

|       |                 |   |   |
|-------|-----------------|---|---|
| 事業の評価 | 必要性             | <input type="checkbox"/> 影響は大きい <input checked="" type="checkbox"/> やや影響がある <input type="checkbox"/> 影響はほとんどない                                    |   |
|       | 縮小・休止・廃止の影響は大きい | 近年子どもたちがものづくりに触れる機会が減少しているなど、ものづくり離れ、さらには青少年の理科、科学技術離れが懸念され、今後ものづくりと科学技術を担う人材の育成が必要とされている。  |   |
|       | 有効性             | <input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない |   |
|       | 市民の満足度が得られている   | アンケート結果では参加者から好評を得ている。文部科学省の教材整備指針では、中学校で3Dプリンターの授業が推奨されており、当科学館でも今後時代の要請に応じていく必要がある。   |   |
| 評価    | 効率性             | <input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない   |   |
|       | 効率的に実施できた       | 指導者が限られているため、ワークショップ以外では大人数での教室に対応できない。   |   |
| 内部評価  | 達成度             | <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない             |   |
|       | 目標を計画どおり達成している  | 募集型の教室やワークショップを併用することで多くの方に体験してもらい認知度は上がっている。   |   |
|       | 総合評価            | 費用対効果   | コストに見合った効果が <input checked="" type="checkbox"/> あがっている <input type="checkbox"/> あがっていない   |
| 評価    | 評価に対するコメント      | 手段の妥当性  | 手法を見直す必要が <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他(良い手段を模索している)  |
|       |                 | 事業の方向性  | <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他( ) |
|       |                 | 認知度は上がってきており、概ね目標は達成している。今後も、当教室を通じて地域における科学技術の普及と底上げを図る。   |   |

(2) 事業の今後の方向性(Action)

|              |   |
|--------------|---|
| 現状の課題        | 募集型の教室は内容が高度であるため対象人数が少なく、低年齢層の参加も困難である。  |
| 今後の取り組み      | 少人数参加の募集型教室ではなく、多くの人が体験できるような来館者対象の簡易的なワークショップのみを実施する。  |
| 総合評価         | <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他(新たな事業展開) |
| 外部評価委員の意見・評価 | 予算規模としては縮小になるが、3Dプリンターをほかの教室にも活用するなど、新たな事業展開を図り3Dプリンターの活用を行っていただきたい。  |

IV. 評価委員会の評価を踏まえた事業の方向性

|         |   |
|---------|---|
| 今後の取り組み | 実用的で簡単に取り組める教室を継続するとともに、これまでの経験をもとに、より多くの方が3Dプリンターに触れ「ものづくり」に興味を持っていただく活用方法を模索する。 |
|---------|---|

|                   |   |      |                |
|-------------------|---|------|----------------|
| 発展計画の目標           | 多様な学習機会の提供  | 番号   | 7              |
| 事務事業名             | ブックスタート事業   | 主要施策 | 図書館の充実         |
|                   |   | 担当課  | 図書館            |
| I. 事業の目的・内容(Plan) |   | 予算科目 | 款 10 項 4 目 5 節 |
| 事業の目的             | 赤ちゃんと保護者が、絵本を通して心ふれあう時間と親子で絵本に親しんでもらうきっかけをつくる。                                  |      |                |
| 事業の内容             | 4カ月集団検診時、親子に絵本をプレゼントする。配布の際は、ボランティアより赤ちゃんへの読み聞かせも実施する。                          |      |                |
| 事業の課題             | 配布する絵本が手元にある場合は、絵本の交換ができるよう種類を拡充し、また、プレゼントで終わらせるのではなく、親子で楽しめる図書館への利用を周知する必要がある。 |      |                |

II. 事業の取り組みとコストの状況(Do)

| 事業コスト  | 区 分          | 単位    | R3年度決算 | R4年度決算 | R5年度予算 |     |
|--------|--------------|-------|--------|--------|--------|-----|
|        | 事業費          | ①     | 千円     | 218    | 243    | 266 |
| うち一般財源 |              | 千円    | 218    | 243    | 266    |     |
| 概算人件費  |              | ②     | 千円     | 671    | 660    | 631 |
| 総コスト   |              | ① + ② | 千円     | 889    | 903    | 897 |
| 実績及び成果 | 名 称          | 単位    | R3年度実績 | R4年度実績 | R5年度予定 |     |
|        | ブックスタートブック配布 | 人     | 92     | 74     | 100    |     |

III. 事業の評価(Check)、今後の方向性(Action)

(1) 事業についての評価(Check)

|                |   |   |   |
|----------------|---|---|---|
| 事業の<br>評価      | 必要性   | <input type="checkbox"/> 影響は大きい <input checked="" type="checkbox"/> やや影響がある <input type="checkbox"/> 影響はほとんどない                                    |   |
|                | 縮小・休止・廃止の影響は大きい   | 赤ちゃんと保護者が絵本を通していっしょに過ごす時間をつくるきっかけづくりとして必要な事業である。  |   |
|                | 有効性   | <input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない |   |
|                | 市民の満足度が得られている   | 絵本が配布され、ボランティアと話をすることができてほっとする時間が持てたと好評をいただいた。  |   |
|                | 効率性   | <input checked="" type="checkbox"/> 効率よく実施 <input type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない   |   |
| 効率的に実施できた      | 4カ月集団検診を利用して行っているため、市内全ての対象者に実施できている。   |   |   |
| 達成度            | <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない |   |   |
| 目標を計画どおり達成している | 赤ちゃんへ読み聞かせを行うことは難しくないと保護者からの理解を得られているため今後も継続するべきである。  |   |   |
| 内部<br>評価       | 総合評価  | 費用対効果   | コストに見合った効果が <input checked="" type="checkbox"/> あがっている <input type="checkbox"/> あがっていない   |
|                |   | 手段の妥当性  | 手法を見直す必要が <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他( )  |
|                |   | 事業の方向性  | <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他( ) |
| 評価に対するコメント     | 絵本を通して親子がふれあう時間のきっかけづくりとなり、健やかな成長と子育てを応援する事業として継続するべきである。   |   |   |

(2) 事業の今後の方向性(Action)

|              |   |
|--------------|---|
| 現状の課題        | 配布した絵本で終わらせず、多くの絵本を利用できるよう来館機会の増加を図る必要がある。  |
| 今後の取り組み      | ブックスタート事業の際に、蔵書絵本や子育て本を紹介して、図書館利用を促す。   |
| 総合評価         | <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他( ) |
| 外部評価委員の意見・評価 | 本好きな子どもを育てていくきっかけを与えてくれる事業であり、継続することで効果を出していただきたい。子どもたちを大事にし、子育てをしていこうという意思が伝わってくる事業である。  |

IV. 評価委員会の評価を踏まえた事業の方向性

|         |  |
|---------|--|
| 今後の取り組み | ブックスタート時に行っている読み聞かせもコロナ禍を経て再開している。読み聞かせも、本を通して親子が触れ合うために大切なものであり、本が好きな子どもを育てるために一役を担っているので、ブックスタート時に合わせて継続して行っていきたい。 |
|---------|--|

|         |            |      |               |
|---------|------------|------|---------------|
| 発展計画の目標 | 多様な学習機会の提供 | 番号   | 8             |
| 事務事業名   | 白瀬南極出前授業   | 主要施策 | 白瀬南極探検隊記念館の充実 |
|         |            | 担当課  | 白瀬南極探検隊記念館    |

I. 事業の目的・内容(Plan)

|       |   |
|-------|---|
| 事業の目的 | 白瀬南極探検隊から続く日本の南極観測について、元南極観測隊員を講師に迎え、通常では目にする事のない南極の姿や観測活動を行っている隊員の姿を紹介し、白瀬南極探検隊の偉業と重ねながら、次世代を担う小中学生に夢を持ち、チャレンジする大切さを伝える。 |
| 事業の内容 | にかほ市内の小中学生の児童生徒を対象に、南極観測隊員OBを講師に迎え、白瀬南極探検隊と現在の南極観測についての講話をしてもらう。そのほか体験学習として、南極の氷や南極観測隊員の防寒着、南極の石や隕石について体感してもらう。           |
| 事業の課題 | 講師の選定と日程調整に苦慮している。  |

II. 事業の取り組みとコストの状況(Do)

| 事業コスト  | 区分      | 単位 | R3年度決算 | R4年度決算     | R5年度予算 |
|--------|---------|----|--------|------------|--------|
|        | 事業費     | ①  | 千円     | 0          | 0      |
| うち一般財源 |         | 千円 | 0      | 0          | 99     |
| ②      |         | 千円 | 671    | 0          | 631    |
| ① + ②  |         | 千円 | 671    | 0          | 730    |
| 実績及び成果 | 名称      | 単位 | R3年度実績 | R4年度実績     | R5年度予定 |
|        | 実施回数    | 回  | 1      | (予定 2回) 0  | 3      |
|        | 参加児童生徒数 | 人  | 25     | (予定 57人) 0 | 75     |

III. 事業の評価(Check)、今後の方向性(Action)

(1) 事業についての評価(Check)

|            |   |   |   |
|------------|---|---|---|
| 事業の評価      | 必要性   | <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> やや影響がある <input type="checkbox"/> 影響はほとんどない<br>縮小・休止・廃止の影響は大きい<br>にかほ市の小中学生の児童生徒にとって、白瀬や南極についての学習の場として必要である。   |   |
|            | 有効性   | <input type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 概ね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input checked="" type="checkbox"/> 現時点で判断できない<br>市民の満足度が得られている<br>にかほ市出身の偉人を深く知る機会として有効である。しかし今年度はコロナ感染予防及び講師のスケジュールの関係で未実施だった。 |   |
|            | 効率性   | <input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い <input checked="" type="checkbox"/> 現時点で判断できない<br>効率的に実施できたか<br>例年、交流がある研究者や「南極OB会」の方などに講師を依頼し、金銭的にも効率よく実施している。しかし今年度は未実施だった。      |   |
|            | 達成度   | <input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない<br>目標を計画どおり達成しているか<br>今年度はコロナ感染予防及び講師のスケジュールの関係で未実施である。                                       |   |
| 内部評価       | 総合評価  | 費用対効果   | コストに見合った効果が <input type="checkbox"/> あがっている <input checked="" type="checkbox"/> あがっていない   |
|            |   | 手段の妥当性  | 手法を見直す必要が <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他( )  |
|            |   | 事業の方向性  | <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他( ) |
| 評価に対するコメント | 今年度は年末のコロナ感染拡大による学校側の対応や、講師のスケジュールの関係で調整ができず未実施となったが、コスト面や手法については継続して実施したい。 |   |   |

(2) 事業の今後の方向性(Action)

|              |   |
|--------------|---|
| 現状の課題        | 学校側も授業や行事で多忙であり、早い段階から日程調整が必要である。   |
| 今後の取り組み      | 例年冬季に実施している事業であるが、時期にこだわらず実施する。   |
| 総合評価         | <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他( ) |
| 外部評価委員の意見・評価 | コロナ禍で今年度は未実施だったが、にかほ市の偉人を学ぶよい機会なので継続していただきたい。実施の際には学校と連携し対象を3年生や5年生に絞るなど、取り組みやすい環境を提案するようお願いする。   |

IV. 評価委員会の評価を踏まえた事業の方向性

|         |   |
|---------|---|
| 今後の取り組み | 既定の会議(教頭会等)を通じて事業紹介し、対象校を早期に決定する。対象校、講師と日程調整し、にかほ市の偉人を学ぶ機会を絶やさないよう事業継続していきたい。 |
|---------|---|

|         |            |      |             |
|---------|------------|------|-------------|
| 発展計画の目標 | 多様な学習機会の提供 | 番号   | 9           |
| 事務事業名   | 音楽ホールの管理運営 | 主要施策 | 芸術文化の振興と支援  |
|         |            | 担当課  | 仁賀保勤労青少年ホーム |

I. 事業の目的・内容(Plan)

|       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 事業の目的 | 市民の芸術文化活動の支援を図る。                    |
| 事業の内容 | 仁賀保勤労青少年ホーム音楽ホールの日常管理と公演等に関する支援を行う。 |
| 事業の課題 | 音響及び照明スタッフの人材育成                     |

II. 事業の取り組みとコストの状況(Do)

| 事業コスト  | 区分    | 単位 | R3年度決算 | R4年度決算 | R5年度予算 |
|--------|-------|----|--------|--------|--------|
|        | 事業費   | ①  | 千円     | 1,217  | 1,352  |
| うち一般財源 |       | 千円 | 1,217  | 1,352  | 1,478  |
| 概算人件費  |       | ②  | 千円     | 2,013  | 1,846  |
| 総コスト   | ① + ② | 千円 | 3,230  | 3,198  | 3,371  |

  

| 実績及び成果    | 名称        | 単位 | R3年度実績 | R4年度実績 | R5年度予定 |
|-----------|-----------|----|--------|--------|--------|
|           | 音楽ホール使用回数 | 回  | 94     | 151    | 120    |
| 音楽ホール公演回数 | 回         | 24 | 41     | 40     |        |

III. 事業の評価(Check)、今後の方向性(Action)

(1) 事業についての評価(Check)

|            |  |  |   |
|------------|--|--|---|
| 事業の評価      | 必要性<br>縮小・休止・廃止の影響は大きい                     | <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> やや影響がある <input type="checkbox"/> 影響はほとんどない<br>音楽ホール専用の音響・照明設備を有する市内唯一の施設であるため、休止や廃止の影響は大きい。  |   |
|            | 有効性<br>市民の満足度が得られている                       | <input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない<br>音楽ホールがあることで公演できる環境があり、概ね満足いただいている。                          |   |
|            | 効率性<br>効率的に実施できた                           | <input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない<br>職員による音響照明操作で効率よく実施できている。より高度な操作が必要な場合は各団体より専門業者へお願いすることとしている。 |   |
|            | 達成度<br>目標を計画どおり達成している                      | <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない<br>各公演ごとに主催者の要望をきいて、音響・照明設備を操作しているため、概ね計画どおりにできている。                        |   |
| 内部評価       | 総合評価                                       | 費用対効果  | コストに見合った効果が <input checked="" type="checkbox"/> あがっている <input type="checkbox"/> あがっていない   |
|            |  | 手段の妥当性   | 手法を見直す必要が <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他( )  |
|            |  | 事業の方向性   | <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他( ) |
| 評価に対するコメント | より高度な音響及び照明設備を必要とする団体は専門業者へ委託することで公演できている。 |  |   |

(2) 事業の今後の方向性(Action)

|              |   |
|--------------|---|
| 現状の課題        | 舞台設備の老朽化による設備の更新及びスタッフの人材育成   |
| 今後の取り組み      | 職員のできる範囲において音楽ホールでの舞台設備を使用していく。   |
| 総合評価         | <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他( ) |
| 外部評価委員の意見・評価 | 市内唯一の、照明音響設備が整った貴重な音楽ホールであり、必要な施設である。音響照明設備は取り扱いが難しく、職員の苦勞も大きいとは思いますが、引き続き頑張ってください。   |

IV. 評価委員会の評価を踏まえた事業の方向性

|         |   |
|---------|---|
| 今後の取り組み | 市内唯一の音楽ホールを保有する施設を維持していくため、各設備の更新時期を見極めながら運営に努める。また、音響照明設備のオペレーター育成は急務であるため、講習会等を検討し維持に努める。 |
|---------|---|

|                   |   |      |              |
|-------------------|---|------|--------------|
| 発展計画の目標           | 史跡・名勝・天然記念物の保護・管理   | 番号   | 10           |
| 事務事業名             | 天然記念物「象潟」(九十九島)下刈り事業  | 主要施策 | 天然記念物等の保護・管理 |
|                   |   | 担当課  | 文化財保護課       |
| I. 事業の目的・内容(Plan) |   | 予算科目 | 款10 項4 目10 節 |
| 事業の目的             | 九十九島の景観の維持と文化財保護意識の高揚   |      |              |
| 事業の内容             | 国の天然記念物である「象潟」の定期的な保護管理のため、ボランティア団体(九十九島の松をまもる会・島守り)と市(委託事業)が協働で下刈り作業を実施している。 |      |              |
| 事業の課題             | ボランティア団体の高齢化、後継者不足が課題となっている。また、市の委託事業は労務単価の上昇により事業費が増加している。                   |      |              |

II. 事業の取り組みとコストの状況(Do)

| 事業コスト      | 区分                | 単位    | R3年度決算 | R4年度決算 | R5年度予算 |
|------------|-------------------|-------|--------|--------|--------|
|            | 事業コスト             | 事業費 ① | 千円     | 4,717  | 3,316  |
| うち一般財源     |                   | 千円    | 0      | 0      | 3,811  |
| 概算人件費 ②    |                   | 千円    | 335    | 308    | 315    |
| 総コスト ① + ② |                   | 千円    | 5,052  | 3,624  | 4,126  |
| 実績及び成果     | 名称                | 単位    | R3年度実績 | R4年度実績 | R5年度予定 |
|            | 委託事業による下刈         | ha    | 9.84   | 8.99   | 9.45   |
|            | 九十九島の松をまもる会による下刈り | ha    | 1.71   | 3.22   | 2.78   |
|            | 島守による下刈り          | 団体    | 6      | 6      | 7      |

III. 事業の評価(Check)、今後の方向性(Action)

(1) 事業についての評価(Check)

|                   |   |  |   |
|-------------------|---|--|---|
| 事業<br>の<br>評<br>価 | 必要性   | <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> やや影響がある <input type="checkbox"/> 影響はほとんどない<br>「象潟」は市が管理団体であり、市有地でもあるため、景観保全と管理は市が主導して行うことが妥当である。                                     |   |
|                   | 有効性   | <input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない<br>ボランティア団体と市の協働により、天然記念物「象潟」の保護管理と文化財保護意識の高揚に結びついている。 |   |
|                   | 効率性   | <input type="checkbox"/> 効率よく実施 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率よく実施 <input type="checkbox"/> 効率が悪い <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない<br>下刈り実施による松くい虫被害の防止、ボランティア団体との協働により、維持コストの削減につながっている。   |   |
|                   | 達成度   | <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 現時点で判断できない<br>市所有のほぼすべての島の下刈りを実施しており、概ね目標は達成している。                             |   |
| 内部<br>評<br>価      | 総合評価  | 費用対効果  | コストに見合った効果が <input checked="" type="checkbox"/> あがっている <input type="checkbox"/> あがっていない   |
|                   |   | 手段の妥当性   | 手法を見直す必要が <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他( )  |
|                   |   | 事業の方向性   | <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他( ) |
| 評価に対するコメント        | コロナ禍で実施できなかった島守り団体が令和5年度から活動再開予定であり、高齢化等の課題もあるが、今後もボランティア団体と協力しながら下刈り作業を実施していく。 |  |   |

(2) 事業の今後の方向性(Action)

|              |   |
|--------------|---|
| 現状の課題        | ボランティア団体の高齢化、後継者不足といった課題のほか、近年、松くい虫被害が再拡大しており、松枯対策事業(樹幹注入・農薬散布)と合わせて下刈り作業が重要である。  |
| 今後の取り組み      | 全ての島の下刈りが実施できない場合は、隔年で実施するなど、工夫しながら事業を継続する。   |
| 総合評価         | <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他( ) |
| 外部評価委員の意見・評価 | 天然記念物「象潟」の景観を維持することはとても大切なことである。一方で、今後基盤整備などの工事が入るといろいろな影響が考えられるので、配慮して実施していただきたい。  |

IV. 評価委員会の評価を踏まえた事業の方向性

|         |   |
|---------|---|
| 今後の取り組み | 報道機関等への活動の情報提供や、ほ場整備後に営農団体等への島守り制度新規参画の働きかけを行い、後継者育成やコスト削減につながる取り組みを実施しながら、令和5年度もボランティア団体と連携を図り、景観の維持と天然記念物の保護管理に努める。 |
|---------|---|



## 評価委員会の意見（総評）

### 1. はじめに

社会情勢を大きく変えた新型コロナウイルス感染症が「ウィズコロナ」から「アフターコロナ」に転換しつつある中、地域社会の学習ニーズも高度化・多様化し、教育情勢は急激な変化への対応が重要になっている。

にかほ市教育委員会では「夢あるまち 豊かなまち 元気なまち 住みたいまち」を教育の基本理念として、学びの充実のため様々な取り組みをしてきた。このたび、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、令和4年度事業を対象とした10項目の事業について点検・評価を行ったので、その結果を報告させて頂く。

価値観の多様化やデジタル化が進展し、教育委員会の各種事業も複雑多岐にわたっており、担当職員が工夫と努力を積み重ねながら取り組んでいることに対し敬意を表したい。事業によっては継続・廃止・縮小の判断に迷うこともあったが、21世紀を生き抜くための力の育成や、生きがいにつながる学習機会の提供を充実させるためには取捨選択の判断も重要となってくるだろう。今後も「人と文化を育む教育体制の充実」のため、市民ニーズを把握し計画通りに事業が展開できることを願う。

### 2. 知・徳・体の調和のとれた子どもの育成

「小・中学校施設・設備の維持管理業務」については、全ての施設に共通して言えることだが、老朽化問題は全国的にも重要な課題となっている。しっかりとした計画のもとに、子どもたちの安全安心を確保できるよう十分な対応をしていただきたい。

「ICT支援員」については、ICTは子どもたちにとっても身近になっており、授業に活用していることは重要なことと考える。科目によっては機器も使いにくいということもあると思われるが、必要に応じて支援員を増員するなど、更に充実したものにしていきたい。

### 3. 多様な学習機会の提供

「高齢者学級(金浦福寿大学)」については、老人クラブの衰退が見られる状況の中で、コロナ禍であっても一度も休まずに実施したことは、大変意義深いことだと考える。これからも、参加者全員が安心して参加できる活動を継続していただきたい。

「元気の出る古典講座」については、広く一般の人も興味を持ちやすいテーマを選定しており、参加人数も多い。継続していくことで更に良い講座となることが期待されることから、周知方法を工夫して、幅広い参加を促していただきたい。

「イスに座ってできる軽運動」については、公民館教室からサークル活動への移行を検討する中、指導者などの人材確保は難しいと考える。サークル活動への意向は理想的ではあるが、事業自体をスポーツ推進委員などと連携して実施することなども検討していただきたい。

「3Dプリンター教室」については、予算規模としては縮小しているが、3Dプリンターをほかの教室にも活用するなど、新たな事業展開を図り3Dプリンターの活用を検討していただきたい。

「ブックスタート事業」については、子どもたちを大事にし、子育てをしていこうという意思が

伝わってくる大事な事業であると考えている。本好きな子どもを育てていくきっかけを与えてくれる事業であり、継続することで効果に繋げていっていただきたい。

「白瀬南極出前授業」については、令和4年度はコロナ禍により未実施であったが、にかほ市の偉人を学ぶよい機会であるので、継続していただきたい。実施の際には、学校と連携し、対象を3年生や5年生に絞るなど、取り組みやすい環境を提案するなどして進めていただきたい。

「音楽ホールの管理運営」については、仁賀保勤労青少年ホームは市内唯一の照明音響設備が整った貴重な音楽ホールであり、必要な施設であると考えている。音響照明設備は取り扱いが難しく、職員の苦労も大きいことが推察されるが、引き続き職員の頑張りにも期待したい。

#### 4. 史跡・名勝・天然記念物の保護・管理

「天然記念物『象潟』(九十九島)下刈り事業」については、天然記念物「象潟」を維持するとても大切な事業であると考えている。一方で、今後、基盤整備事業などの実施で工事が進むと、様々な影響が考えられるので、関係各所と協議連携をしながら実施をしていただきたい。

以上で総評といたします。

令和5年9月

#### <教育委員会評価委員>

|         |                  |
|---------|------------------|
| 佐々木 正 憲 | 学識経験者 (行政職経験者)   |
| 佐藤 正 隆  | 学識経験者 (PTA役員経験者) |
| 三浦 順 子  | 学識経験者 (学校教員経験者)  |